

# 希望の鐘

第156号

## ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

7月19日(金)、1学期終業式が行われ、33日間に渡る夏休みに入りました。休みといっても生徒は部活動や学習会で毎日のように出校しており、先生方もその指導と、休み前とほとんど変わっておりません。それでも普段よりは気が休まり、ゆっくりと過ごすことができるのではないのでしょうか。

学級担任が書いた通信票に目を通させてもらいました。一人一人をよく見て、成長した点、良かった点、ここを頑張ればもっと良くなるだろうという点が書かれており、この夏休みの過ごし方も書かれていました。これを参考に夏休みを有意義に過ごさせてほしいと思います。

この夏休み、事故非行なく、ネットトラブルなどにも巻き込まれることもなく、安全・安心に過ごすとともに、規則正しい生活を送らせてください。2学期始業式、全員元気に、そして、一回り大きく成長した生徒の皆さんに会いたいものです。

次に終業式で行われた各学年代表の意見発表を載せます。ご一読ください。

### ○1年2組 ○○ ○

1年2組の1学期を振り返って悪かった点は、提出物を期限内に出せなかった点と、相手の気持ちを考えないような場面が多くみられた点です。

提出物を期限内に出せなかった点については、中学生になり、日々の授業や部活動で疲れたせいか、宿題忘れが増えたような気がします。宿題を忘れると、勉強についていけなかったり、居残りをして部活動に遅れたり、自分にも周りの人たちにも迷惑がかかります。明日から始まる夏休みも様々な宿題が出されます。出校日、始業式の日に決まった宿題を出せるように、一人一人または、友だち同士で何か対策ができればいいなと思います。

相手の気持ちを考えていないような場面が多くみられた点については、最近、私は相手が傷つくのではないかと思うような会話をよく聞きます。自分がおもしろがって言った言葉でも、言われた相手は本気で受け止めて傷ついてしまうことは本当にあるのです。ですから、日々の言葉遣いには注意しなければならないと思います。2学期は話している相手の気持ちをみんなが考えられるような温かい学級にしていきたいです。

提出物を期限内に提出することも、言葉を考えて使うということも、他人のことを思いやるという点では共通することです。私たち1学年が今以上に成長するためには、自分に厳しく人に優しくなることだと思います。ぜひ、これらのことを改善して、今よりもっと良い学年にしていきたいと思います。

### ○2年1組 ○○ ○○

僕は、昨年度の後期、学級の書記になり学プロに入りました。普段の生活で失敗することが多い自分が、学級や学年のリーダーとしてみんなに呼びかけをしたり、学年全体を動かしたりしなければならなくなりました。しかし、時間を守らなかつたり、ふざけていたりして、自分がみんなに呼びかけをする立場になかなかたないままでした。

そんな中で、僕がリーダーの大変さとやりがいが一番感じたのは、学年末の締めくくりとして行った、学年レクでした。先生から「企画も準備もすべて学プロ8人でやりなさい。先生は何も手伝わない。」と言われました。準備の時間があまりないのに、自分たちがやりたいと思ったゲーム形式のレクをすることにしました。自分たちでは大丈夫と思っていたのに、実際にやってみると、運営や進行がぐだぐだになってしまい、みんなに楽しんでもらうことができませんでした。先生から何が足りなかったのか教えてもらい、自分たちでも反省をしました。

僕はこの経験から、2年生でも、どうしても学プロに入り、今度こそみんなが楽しめるような企画を計画して、成功させたいと考えました。今年は室長になりました。僕自身そんな立場になるのは、責任が重くて逃げたい部分もあったし、僕で大丈夫かなど、正直考えた人もいます。ほかにやりたいと言って人もいました。しかし、クラスみんなは、いつも僕に協力してくれます。時々、このことを忘れてしまうので、しっかり頑張らなければならないと思います。

2年生になり、僕たちは、先生方から認めてもらえることが増えてきました。例えば、学年集会などで話を聞く態度が良くなったとほめられたり、長縄跳びをした時には、先生方の力を借りずに自分たちで練習を進め、一つの目標に向かえるようになったと言ってもらいました。

その反面、楽しいことがあるとけじめがつかなくなったり、守らなければならないことも「これくらいいいや」と自分を甘やかしたり、いやなことを避けたりするところがまだあります。盛岡自主研でも、時間やルールの失敗をしてしまいました。頑張ったグッジョブも、次の日の学校はだらしくなってしまうました。

今までたくさん失敗し、先生方にもたくさん叱られてきました。それでも、みんなで話し合ったり、一人一人が考えたりしながら、少しずつ成長してきたのが僕たちの学年だと思っています。

夏休みは、引退した3年生に代わって、自分たちが責任をもって部活をリードすることになります。一学期の反省をもとに、夏休みでしっかりと成長し、2学期は、頼りになる学年になったと認めてもらえるよう、頑張ります。

### ○3年1組 ○○○ ○○○

中学校生活最後の1学期は、今までとは比較にならないほど早く過ぎました。今までは何となく言われるがままに勉強し、好きなテレビを見て、時間の流れに身を任せる、そういう状態でしたが、今学期は自分たちで考えて実行しなければいけないことばかりでした。

3年生全員が待ち望んでいた修学旅行。私は、実行委員長という大役を任せられました。委員長とはいっても一人で何かをできたのではなく、他の実行委員や先生方にたくさんサポートしてもらったから、最後までやりきることができたのだと思います。そこで私は支えてくれる人のありがたさを実感しました。

そして、修学旅行から戻って一週間後の一次考査。修学旅行前から勉強を始めていればよかったと後で悔やみました。切り替えが悪い私は、振替休日の後から勉強を始めました。スタートの遅さが影響し、点数が低く落胆したことを覚えています。この失敗から学べばよかったものを、私は二次考査でも計画的に勉強できませんでした。ワークはテスト前日まで残し、さらに夜遅くまでやっていたため、当日は頭がボーッとして集中できず、受験生としては致命的な結果になりました。さすがに母にも怒られ、このままではいけないと自覚しました。次の三次考査ではテスト週間前にワークをどんどん進め、テスト週間に入ったら解き直しをするだけの状態にすると決めました。

部活動では、最後の市中体夏季大会がありました。私は小学校では文化部に所属していましたが、中学校では運動部という未知の領域に飛び込みました。運動が苦手な私は皆についていくだけで精一杯でした。そんな私が中学校最後の大きな大会に出させてもらえるとは、1年生の頃は考えてもいませんでした。私がここまでやってこれたのは、私たちを引っ張ってくれた部長や副部長、たくさん声かけをしてくださった先生方やコーチ、両親のおかげだと確信しています。

私の中で今学期はとても大切な学期となりました。なぜなら、自分自身の弱点や周囲の人に支えてもらっていることのありがたさに気づくことができたからです。今学期に分かった自分の弱点を直すことが来学期の目標です。そして、2学期に行われる三大行事や3学期の受験や卒業式。卒業するギリギリまでたくさん学ぶことがあると思います。その学びを自分のものにして、「充実した中学校生活だった」と卒業時に言えるようにします。また、自分の志望校に入るために、この夏休みに全力で勉強し、苦手なところを克服します。自分の未来のために、悔いの残らないような中学校生活最後の夏休みを過ごします。

## グッジョブご協力、ありがとうございました

7月2日(火)から4日(木)の3日間、小中野小学校を含む地域内の24の事業所の皆様方のご理解のもと、2年生43名によるグッジョブ活動が行われました。この活動を通して、地域とともに歩むことや地域へ貢献することの大切さを知り、また、将来の職業像や自分の生き方を考える、よい機会となりました。ご協力、ありがとうございました。

